

SDGsと模倣品対策

— 模倣品対策はSDGsの実現に貢献 —



www.harakenzo.com/jpn/sdgs
06-6351-4384 (代表)
iplaw-osk@harakenzo.com



1. 模倣品対策の必要性

● 模倣品・海賊版の根源的問題

本来、権利者が得るべき利益の剥奪（企業の売上、利益の減少）

企業のブランド・企業イメージの悪化

企業のイノベーションと創造意欲の減退

消費者の健康・安全被害

犯罪・国際テロ組織への資金供給

模倣被害額以外の影響別企業数（複数回答）

	被害額以外の影響	社数
1	ブランドイメージの低下	6,189
2	技術的優位性の低下	3,293
3	取引先とのトラブル	3,272
4	消費者からのクレーム対応	2,644
5	消費者の事故	636
6	海外展開の遅延	572

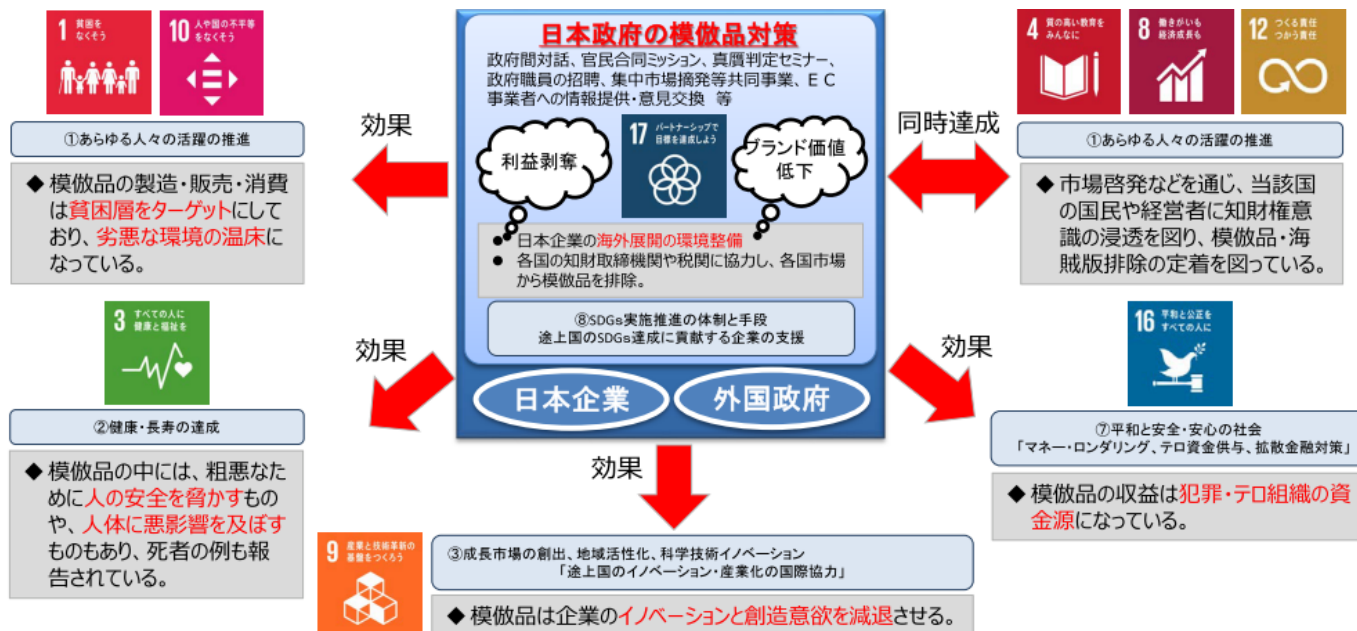
※ 業種や商品の違いなど企業・団体により、模倣品・海賊版対策の必要性の考え方、優先順位が相違することに留意が必要である。

※ 有効回答数を用いた推計

（出典）特許庁「2018年度模倣被害調査報告書」（2019年3月）

「経緯産業省 模倣品対策とSDGs ～模倣品の撲滅でSDGsの達成に貢献～ 令和元年8月」より抜粋

2. 模倣品対策はSDGsの実現に貢献



「経緯産業省 模倣品対策とSDGs ～模倣品の撲滅でSDGsの達成に貢献～ 令和元年8月」より抜粋

3. コメント

- 模倣品対策は、SDGsの実現・達成に貢献するとされています。
- 権利者企業からの要望もあり、「模倣品対策強化」はSDGs実現に向けた優先課題の一つとして、2019年6月の政府のSDGs推進本部で決定されています。
- HARAKENZOにおいても、「SDGs × 知財支援室」を設け、SDGsに向けた知財活動を支援するとともに、「模倣品被害・係争対策室」を設け、模倣品対策に取り組んでおります。模倣品対策でお困りの際は是非、お声がけください。